

2022年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
34103	児童サービス論 Library Services for Children	江良友子		専門	2	選択	1、2前期

科目の概要

児童サービスに関連する法律を知り、読書の役割、年齢層別サービス、各種児童資料、サービスの実際などについて学修する（基礎知識の獲得）。図書館における児童サービスについて、その歴史や重要性を知り、理論的・実践的に理解する（基礎知識の獲得・活用・応用）。児童サービスを学ぶ中で、真心・努力・奉仕・感謝の精神をもって人と接することの大切さを知る。また、社会人基礎力の育成についても意識して学んでいく。

学修内容	到達目標
① 読書の役割が各発達段階で異なることを理解する。 ② 年齢別サービスの違いを理解する。 ③ 児童用資料について知る。 ④ おはなし会を行うために必要な読み聞かせの基本、選書、おはなし会の企画方法、実施後の反省会の必要性について実践的に身につける。 ⑤ 学校、その他の施設との連携について理解する。	① 発達段階別に読書の必要性を説明することができる。 ② 年齢層毎のサービスの違いについて比較することができる。 ③ 児童用資料にはどのようなものがあるか、例を挙げて言うことができる。 ④ お話を企画し、絵本の読み聞かせができる。 ⑤ 連携事業にはどのようなものがあるか説明することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性 読み聞かせ上達のために多くの絵本を読み、自主的に練習することができる。
	働きかけ力
	実行力 手順や方法を考え、期日までにおはなし会企画書を提出できる。
考え抜く力	課題発見力 読み聞かせ上達のために何をすべきか考え、実行できる。
	計画力
	創造力 様々な角度からYA向けサービスについて考えることができる。
チームで働く力	発信力 グループで30分のおはなし会を企画・実施し、終了後に反省会をすることができる。
	傾聴力 人の話に耳を傾け、質問・感想・アドバイスを言うことができる。
	柔軟性
	状況把握力
	規律性 遅刻・無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力

テキスト及び参考文献

テキスト：「図書館情報学基礎資料」 2019年 今まど子・小山憲司 編著、樹村房 1,100円（税込）
 講義用レジュメおよび追加資料、読書ノート用紙は配付する。
 参考文献：『ベーシック絵本入門』 2013年 生田美秋 ほか 著 ミネルヴァ書房 2,592円
 その他の参考文献は、授業の中で紹介する。
 必要に応じて教材として視聴覚資料を使用する。

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：図書館に関する科目全て
 資格との関連：図書館司書

学修上の助言	受講生とのルール
子どもを知り、資料を知り、これら2つを結びつける仕事は児童図書館員の仕事であることを授業や自己の学びを通じて理解すること。 絵本や児童図書をできるだけたくさん読む（卒業までに1,000冊を目標とする）。 公共図書館へ行き、おはなし会を見学するなどして、常にサービスの現場へ足を運ぶこと。	6回以上の欠席は0（放棄）判定となる。 欠席した場合は、次回授業日前までに欠席分の配布資料を取りに来ること。 グループワークは、授業外で打ち合わせをすることが多くなるが、昼休みや空き時間を有効に使って進めること。 レポート作成のため公共図書館で開催されるおはなし会へ参加する場合の交通費等は、自己負担となる。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標			各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①					
				②					
				③					
				④					
				⑤					
	平常評価	小テスト		0	①				
					②				
					③				
					④				
					⑤				
		レポート		40	①	✓			課題①「公共図書館で行われるおはなし会について」1500字以上（20点） 公共図書館へ行き、おはなし会に参加してレポート作成する。 （詳細な記述事項については、授業の中で指示する） 課題②「図書館の学校連携について」2000字以上（20点） 公共図書館と学校図書館の連携とはどのようなものか、学校図書館連携を活発に行っている公共図書館を調べ、その内容等についてレポート作成する。 評価のポイント （表現・表現力）各2点 ・字数制限が守られている。 ・誤字脱字がなく、正しい文章表現を用いている。 ・段落はじめの1字下げなど基本的なルールとレポートの基本書式を守っている。 ・口語やくだけた表現をしていない。「です・ます調」ではなく、「だ・である調」を用いる。 ・情報源は信頼のおける適切なものを使用している。引用・参考文献を記載できている。 （内容）各2点 ・テーマに合致した内容となっている。 ・意味の通らない文章がなく、論旨が明快である。 ・内容に説得力があり、読み手を納得させられる内容である。 ・根拠（これまで学んできたこと：基礎知識）をもとに、自分の考えを述べている（知識の活用）。 ・得た知識を基に課題解決へ向けての考え、道筋が明確に示されている（知識の応用）。
					②	✓			
					③	✓			
					④	✓			
					⑤	✓			
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		50	①	✓			グループに分かれ、おはなし会を企画・実施・反省会をおこなう。提出物は期日までに提出すること。 ・おはなし会企画書（5点） 発表1週間前の授業までに、指定された「月（季節）」や対象年齢に合わせたおはなし会企画書を提出する。 ・おはなし会グループ発表（20点） 30分間の構成を考え、手遊び、絵本、大型絵本、紙芝居などを取り入れたおはなし会を実演する。 ・おはなし会反省会資料（5点） おはなし会を実施した翌週の授業までに反省会用紙を提出する。 ・読書ノート：毎日1冊以上本を読み、読書ノートを記入する（10点） 毎日、絵本や児童書を1冊以上読み、読書ノートに記入する（約100日分）。 ・POP作成（10点） （発信力）YA世代が求める資料とはどのようなものか考え、YA世代向けの本を1冊読み、POPを作成する。		
			②	✓					
			③	✓					
			④	✓					
			⑤						
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（主体性） ・おはなし会での読み聞かせの仕上がりで評価する。 （実行力） ・計画通りのおはなし会ができる。 （課題発見力） ・自分で読み聞かせをするために、図書館で開催されるおはなし会に参加して上達方法を考えることができる。 （創造力） ・YA世代向けに言葉にこだわったPOP作成ができる。 （発信力） ・お話を計画・実施し、終了後に反省会ができ、各種用紙を期限までに提出できる。 （傾聴力） ・グループで行う話し合いの中で、人の意見に耳を傾けることができる。 （規律性） ・遅刻・無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。 ・欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。		
			②	✓					
			③	✓					
			④	✓					
			⑤	✓					
総合評価割合			100						

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S（秀）評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2回のレポートに指定した必要事項が盛り込まれており、評価がいずれも9割以上獲得できている。 ・グループでのおはなし会の企画書・反省会用紙が期日までに提出され、季節感、対象年齢が加味され、まとまった内容となっている。 ・おはなし会の実演に元気があり、聞き手を意識して読み聞かせされており、30分間で終了することができている。 ・作成したPOPは、YA世代を対象とした本を選書し、作成する上で工夫や若者の言葉遣いが意識されており、目にした人を「読みたい」という気持ちにさせる作品となっている。 ・社会人基礎力にある学修態度が9割以上達成できている。 <p>A（優）評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2回のレポートに指定した必要事項が盛り込まれており、評価がいずれも8割以上獲得できている。 ・グループでのおはなし会の企画書・反省会用紙が期日までに提出され、まとまった内容となっている。 ・おはなし会の実演に元気があり、読み聞かせがスムーズである。 ・POPは、YA世代を対象とした本を選書されており、若者の言葉遣いが意識され、作成に工夫が見られる。 ・社会人基礎力にある学修態度が8割以上達成できている。 	<p>B（良）評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2回のレポートに指定した必要事項が盛り込まれており、評価がいずれも7割以上獲得できている。 ・グループでのおはなし会企画書・反省会用紙が期日までに提出されている。 ・おはなし会の実演に元気がある。 ・作成したPOPは、YA世代を対象とした本を選書しており、作成する上で工夫がなされている。 ・社会人基礎力にある学修態度が7割以上達成できている。 <p>C（可）評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2回のレポートに指定した必要事項が盛り込まれており、評価がいずれも6割以上獲得できている。 ・グループでのおはなし会企画書・反省会用紙が提出されている。 ・おはなし会の実演ができている。 ・POPを提出している。 ・社会人基礎力にある学修態度が6割以上達成できている。或いは、達成には至らないが努力できている。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 図書館利用者としての乳幼児～ヤングアダルトについて学ぶ。 (基礎知識の獲得) 第1回レポート説明	講義 質疑応答 第1回レポート課題出題	公共図書館における児童サービス対象について知ることができる。	(第1回分予習) 自分が好きな絵本について、その本を初めて知った時期・理由を発表できる様にする(当日絵本を持参すること)。 (課題) 絵本を読んで、読書ノートに記入する。	180	主体性 課題発見力 規律性
2	児童サービスの意義と役割 児童サービスが子どもにとって必要な理由を学ぶ。 (基礎知識の獲得)	講義 質疑応答	児童サービスの意義と役割を理解できている。	(復習) 配布資料で児童サービスの意義・役割を理解する。授業の中で紹介した参考図書を読む。 (予習) 「アヴェロン野性児」と「狼に育てられた少女 アマラとカマラ」はそれぞれどのような話が調べる (その他) 絵本を読んで、読書ノートに記入する	180	主体性 課題発見力 規律性
3	児童サービスの歴史と現状 イギリス、アメリカ、そして日本の児童サービスの歴史と現状について学ぶ。 (基礎知識の獲得)	講義 質疑応答 実演	イギリス、アメリカ、日本の児童サービスの歴史と現状を理解できている。	(復習) 授業の中で紹介した参考図書の中から1冊以上読む。 (予習) 児童資料を選書する際の注意点をトートに書く(大阪市立図書館「子どもの本棚」委員会選定規準参考) (その他) 絵本を読んで、読書ノートに記入する。	180	主体性 課題発見力 規律性
4	児童資料について ① 児童資料の特色・種類・選択・評価・収集について学ぶ。 (基礎知識の獲得)	講義 質疑応答 実演	児童資料の特色・種類・選択・評価・収集について知ることができる。	(復習) 授業の中で紹介した児童資料のうち、1冊以上読む。 (予習) 絵本の特色を調べ、ノートにまとめる (その他) 絵本を読んで、読書ノートに記入する	180	主体性 課題発見力 規律性
5	児童資料について ② 絵本の特色・種類・選択・評価・収集について学ぶ。 (基礎知識の獲得・活用)	講義 質疑応答 実演 第1回レポート課題提出 読書ノート提出	絵本の特色について述べるができる。	(復習) 担当となった絵本の作者と作品が書かれた時代背景をしらべて、発表できるようにまとめる。 (予習) 昔話を1作品選び、読み聞かせの練習をする (その他) 絵本を読んで、読書ノートに記入する	180	主体性 課題発見力 規律性
6	児童資料について ③ 物語、伝承文学、知識の本の特色・種類・選択・評価・収集について学ぶ。 (基礎知識の獲得・活用)	講義 質疑応答 実演 第1回レポート課題のフィードバック	物語、伝承文学、知識の本の特色を述べることができる。	(予習) おはなし会のレポート作成 (復習) 授業の中で紹介した本をのうち、1冊以上読む。 (その他) 絵本を読んで、読書ノートに記入する	180	主体性 課題発見力 規律性
7	おはなし会企画 おはなし会の企画の方法と読み聞かせの仕方を学ぶ。 (基礎知識の獲得・活用)	講義 質疑応答 グループワーク	おはなし会企画の方法を理解できている。 グループで企画書作成などおはなし会準備ができる。	(復習) おはなし会企画書を作成する。 (その他) 絵本を読んで、読書ノートに記入する。 グループ及び各自で読み聞かせ練習	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
8	その他の資料 エプロンシアターとパネルシアターの特徴と使い方 POPの作り方について (基礎知識の獲得)	講義 質疑応答 実践 おはなし会企画書提出	エプロンシアターとパネルシアターの特徴と使い方を理解できている。 POPの作成方法を知ることができる。	(復習) YA世代向けPOP作成方法を復習し、制作に入る。 (その他) 絵本を読んで、読書ノートに記入する。 グループ及び各自で読み聞かせ練習をする	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	児童サービスの種類 ① 閲覧・貸出・レファレンス・読書相談について学ぶ。 (基礎知識の獲得)	講義 質疑応答 POP提出 第2回レポート課題出題	POPを提出することができる。 閲覧・貸出・レファレンス・読書相談の意義と特徴を理解できている。	(復習) 配布資料で、閲覧・貸出・レファレンス・読書相談がどのようなものか確認し、ノートにまとめる。 (予習) ブックトークとはどのようなものか調べてノートにまとめる。 (その他) 絵本を読んで、読書ノートに記入する。 グループ及び各自で読み聞かせ練習をする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	児童サービスの種類 ② ブックトークとは、どのようなものか学ぶ。 ビデオ:「ブックトーク」 (基礎知識の獲得)	講義 質疑応答 POPについてフィードバック ビデオ視聴 読書ノート提出	ブックトークとはどのような方法で行われるか、その方法を理解できている。	(復習) ブックトークを行う際の留意点についてノートにまとめる。 (その他) 絵本を読んで、読書ノートに記入する。 グループ及び各自で読み聞かせ練習をする。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
11	児童サービスの実践① おはなし会の実践と鑑賞 (基礎知識の活用・応用)	おはなし会の発表 講評	他のグループの発表を鑑賞し、改善点を指摘することができる。	(復習) おはなし会反省会資料を作成する。 (その他) 絵本を読んで読書ノートに記入する。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
12	児童サービスの実践 ② おはなし会の実践と鑑賞 (基礎知識の活用・応用)	おはなし会の発表 講評 おはなし会反省会用紙提出	他のグループの発表を鑑賞し、改善点を指摘することができる。	(復習) おはなし会反省会資料作成する。 (予習) ブックスタートとはどのようなものか調べてノートにまとめる。 (その他) 絵本を読んで読書ノートに記入する	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
13	家庭、地域との連携・協力 ブックスタートについて DVD:『ブックスタート しあわせ広げる、愛情ことば。』2013 NPOブックスタート (基礎知識の獲得)	おはなし会反省会資料提出 講義 質疑応答 DVD視聴	ブックスタートとは何か、その意義を言うことができる。	(復習) 住んでいる自治体でブックスタートが行われているか調べる。また、どこで、だれが、どのような方法で行っているかも調べる。 (予習) 学校図書館支援の方法について調べ、ノートにまとめる。 (その他) 絵本を読んで、読書ノートに記入する。	180	主体性 課題発見力 発信力 規律性
14	児童・生徒への学習支援、学校図書館連携 学校図書館支援をする意義について学ぶ。 (基礎知識の獲得・活用)	講義 第2回レポート課題提出	学校図書館とはどのような場所か述べることができる。 学校図書館支援の意義を述べることができる。	(復習) 学校図書館を支援する意義についてノートにまとめる。 (予習) 児童サービスを行う上での課題について自分の意見をノートにまとめる。 (その他) 絵本を読んで、読書ノートに記入する。	180	主体性 課題発見力 発信力 規律性
15	これからの児童サービスの課題と展望 今後の児童サービスを行う上で必要なことを学ぶ。 (基礎知識の活用・応用) ビデオ:「児童図書館員の専門性」	講義 質疑応答 第2回レポート課題についてのフィードバック ビデオ視聴 読書ノート提出	児童サービスの課題について自分の意見を述べることができる。	(復習) 第1回授業で配布した「児童図書館員に捧ぐ」を見て、第15回の授業を受けて、理想像に近づけたか自分を評価する。	180	主体性 課題発見力 発信力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力